

ORICON

2009年3月期第2四半期決算説明会

2008年11月14日

1. 2009年3月期第2四半期決算の概要
2. 通期の見通し（連結業績予想の修正）
3. 収益のけん引役 : WEBメディア事業
4. 収益のけん引役 : 着うたフル配信サービス
5. データベース事業の拡充について

2009年3月期第2四半期決算の概要

メディア事業

WEBメディア事業が伸展

- ・08年9月度の月間ユニークユーザー数は1,180万5千人。当第2四半期が四半期ごとの推移で過去最高。エンタテインメント系ニュースの提供を「Yahoo!JAPAN」以外に「mixi」へ5月より提供開始したことも貢献。
8月からはエンタテインメント系ニュースを「モバゲータウン」にも提供を開始。その結果、当社グループのモバイル向け一般サイト「ORICON STYLE mobile」の来訪者が急増。インターネット分野におけるニュース配信ではNo.1のポジションを獲得。
- ・WEB広告の第2四半期累計の売上高は前年同期比35.0%増と拡大。

着うたフル・着うたの販売が好調

- ・着うたフル・着うたの第2四半期累計の売上高が前年同期比40.6%増と拡大。着メロの減収減益分を補って、モバイル事業全体で増収増益。
- ・9月からユニバーサル ミュージックの楽曲が配信楽曲に加わり、販売がさらに拡大。

データベース事業

データベース事業を拡充

- ・従来からの「音楽」「映像」に「書籍」を新たに加えた上で、ランキング情報中心のデータ提供サービスから、マーケティングデータ(市場動向・企業情報)を提供するサービスに拡充するため、システム開発に着手。
第4四半期に「ORICON Biz ONLINE」として国内随一のデータ提供サービスを開始。

連結損益計算書



(単位:百万円)	08年3月期 2Q累計	09年3月期 2Q累計	増減	
			金額	増減率
売上高	2,974 (100%)	2,433 (100%)	540	18.2%
売上原価	1,836 (61.7%)	1,369 (56.3%)	467	25.4%
差引売上総利益	1,138 (38.3%)	1,063 (43.7%)	75	6.6%
販管費	1,063 (35.8%)	835 (34.3%)	228	21.5%
営業利益	75 (2.5%)	228 (9.4%)	153	204.9%
経常利益	15 (0.5%)	156 (6.4%)	141	938.9%
税金等調整前 四半期純利益	601 (20.2%)	365 (15.0%)	966	-
四半期純利益	620 (20.9%)	261 (10.7%)	881	-

売上高の主な変動要因

「増収要因」

- ・WEB「ORICON STYLE」広告[138百万円増(35.0%増)]
- ・着うた、着うたフル[119百万円増(40.6%増)]

「減収要因」

- ・連結除外となった子会社2社の影響[673百万円減]
- ・着メロ[111百万円減(22.4%減)]
- ・雑誌[54百万円減]
(「キッズスタイル」休刊による影響:71百万円)

営業利益の主な変動要因

「増益要因」

- ・WEB「ORICON STYLE」広告の増益[103百万円]
- ・着うた、着うたフルの増益[45百万円]
- ・連結除外となった子会社2社の影響[101百万円]

「減益要因」

- ・データベース事業の拡充のための先行投資[39百万円]
- ・人材情報提供サービスの立ち上げ費用[13百万円]
- ・着メロの減益[21百万円]
- ・内部統制関連費用などの管理系費用増[50百万円]

主な特別利益

- ・oricon ME 株式売却益[151百万円]
- ・連結除外となったORICON CNS INC.に関わる為替差益
[63百万円]

セグメント別売上高内訳



(単位:百万円)	08年3月期 2Q累計	09年3月期 2Q累計	増減	
			金額	増減率
メディア事業	2,485	2,183	302	12.1%
WEBメディア事業	919	638	280	30.5%
ORICON STYLE 広告	394	532	138	35.0%
ORICON CNS ¹⁾	525	106	419	79.8%
モバイル事業²⁾	871	903	32	3.7%
着メロ	493	382	111	22.4%
着うた・着うたフル	293	412	119	40.6%
その他サービス	85	109	24	28.2%
雑誌事業²⁾	696	642	54	7.8%
データベース事業	234	250	16	6.8%
フランクリン・ミント事業¹⁾	254	0	254	100.0%
売上高合計	2,974	2,433	540	18.2%

07年10月に休刊した「キッズスタイル」の売上高71百万円を含む

1)フランクリン・ミント株式会社は08年3月期第2四半期に、ORICON CNS INC.は09年3月期第1四半期にそれぞれ連結除外済み。

2) 09年3月期より音楽情報サイトの売上を「着メロ」から「その他サービス」に移管。携帯電話向けサイト「デ・ビューしようよ」の売上を「雑誌事業」から「モバイル事業」の「その他サービス」に移管。08年3月期の数値は09年3月期と同じ仕訳方法で算出。

連結貸借対照表



(単位:百万円)	08年3月期末	09年3月期2Q末	増減
資産合計	3,870	3,754	116
流動資産	2,111	1,769	342
有形固定資産	162	192	30
無形固定資産	425	466	41
投資その他	1,172	1,322	150
繰延資産	0	3	3
負債合計	3,167	2,841	326
流動負債	2,332	2,296	36
固定負債	834	545	289
純資産合計	703	913	210
株主資本	374	636	262
評価・換算差額等合計	116	9	107
少数株主持分	212	266	54

流動資産の減少は、ORICON CNS INC.の売掛金が同社の連結除外によって計上されなくなったことが主な要因。
 有利子負債の削減を進め、前期末2,347百万円から2,093百万円に減少（253百万円の削減）。
 株主資本の増加は、四半期純利益を計上したことが主な要因。
 自己資本比率が、12.7%から17.2%に上昇（4.5ポイントの増加）。

2Q累計期間の実績と期首予想数値との比較

(単位:百万円)	09年3月期第2四半期累計期間				(ご参考) 前年同期実績
	期首予想数値	実績値	増減		
			金額	増減率	
売上高	2,410	2,433	23	1.0%	2,974
営業利益	150	228	78	52.0%	75
経常利益	110	156	46	41.8%	15
四半期純利益	248	261	13	5.2%	620

WEBメディア事業および着うたフル事業が好調に推移したことを主な要因として、売上・利益が期首の計画を上回った。

グループ全体のコストも、管理を徹底したことなどが奏功し、期首の計画より抑えられた。

期首における四半期純利益の予想数値は150百万円だったが、第1四半期の決算過程で、ORICON CNS INC.に関して未実現の為替差益を特別利益として計上することになったことを主な要因として、平成20年7月28日に予想数値を248百万円に修正。

通期の見通し（連結業績予想の修正）

通期業績予想の修正



(単位:百万円)	09年3月期通期				(ご参考) 前期通期実績
	期首予想数値	今回修正予想数値	増減		
			金額	増減率	
売上高	5,100	5,140	40	0.8%	5,824
営業利益	430	510	80	18.6%	190
経常利益	350	400	50	14.3%	53
当期純利益	384	400	16	4.2%	600

WEBメディア事業や着うたフル事業など当社グループの基幹事業は、現状において景気後退の影響を受けておらず、堅調に推移。第2四半期累計期間の実績が期首予想を上回った差分を考慮して、通期の予想数値を修正。

特に、WEBメディア事業においては、平成20年10月度の月間ユニークユーザー数、月間ページビュー数ともに過去最高を記録するなど、第3四半期に入っても成長を持続。

各事業における原価および営業費用の他、内部統制関連を含む管理系コストも依然抑えられて推移する見通し。

期首における当期純利益の予想数値は320百万円だったが、第1四半期の決算過程で未実現の為替差益を特別利益として計上することになったことを主な要因として、平成20年7月28日に予想数値を384百万円に修正。

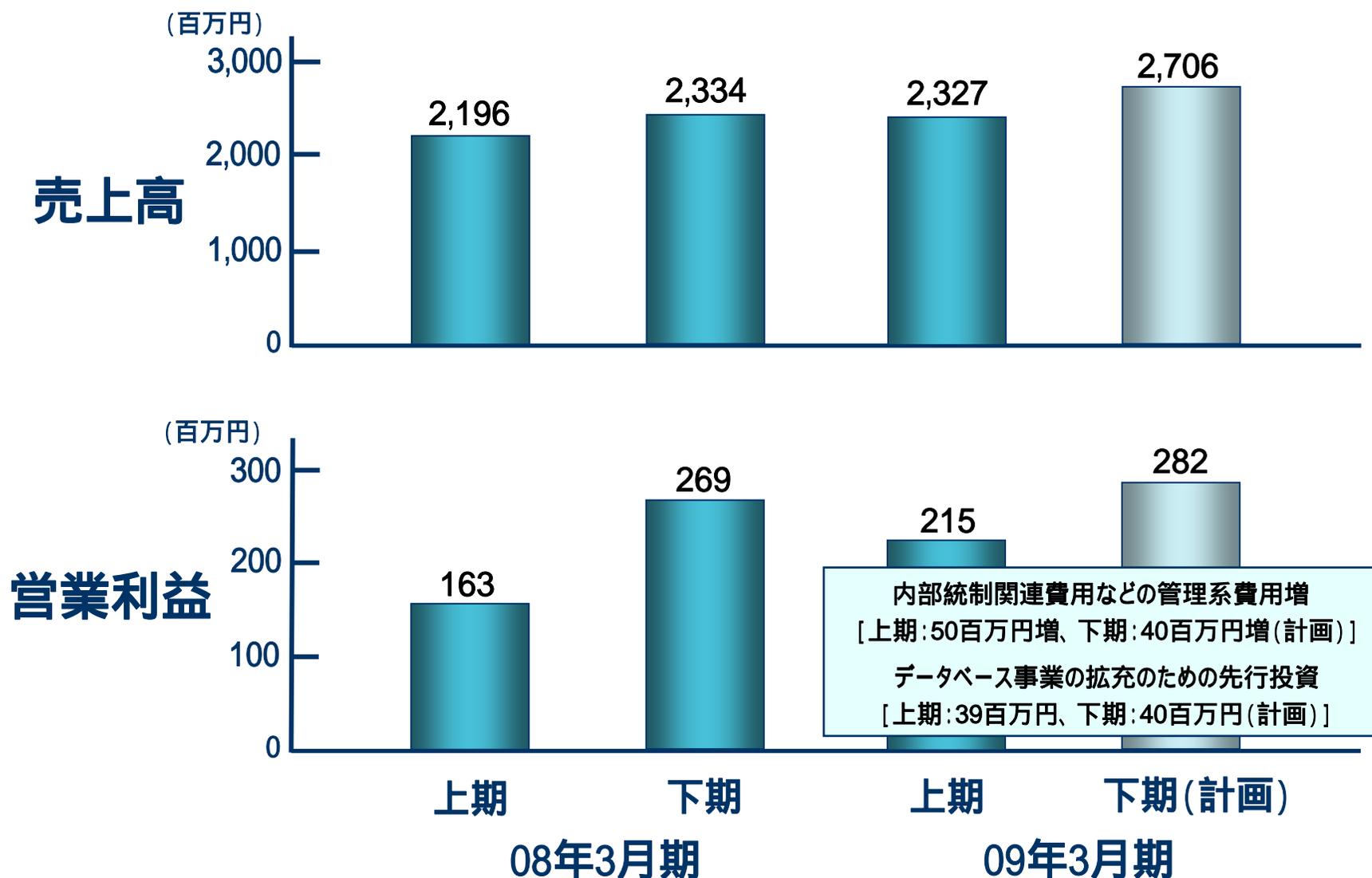
通期業績予想のセグメント別売上高内訳



(単位:百万円)	上期実績	下期予想	通期予想	(参考) 前期通期実績
メディア事業	2,183	2,315	4,498	5,083
WEBメディア事業	638	601	1,239	1,927
ORICON STYLE 広告	532	601	1,133	885
ORICON CNS	106	0	106	1,042
モバイル事業	903	1,029	1,932	1,756
着メロ	382	355	737	922
着うた・着うたフル	412	473	885	654
その他サービス	109	201	310	180
雑誌事業	642	685	1,327	1,400
データベース事業	250	262	512	487
フランクリン・ミント事業	0	0	0	254
その他事業	0	130	130	0
売上高合計	2,433	2,707	5,140	5,824

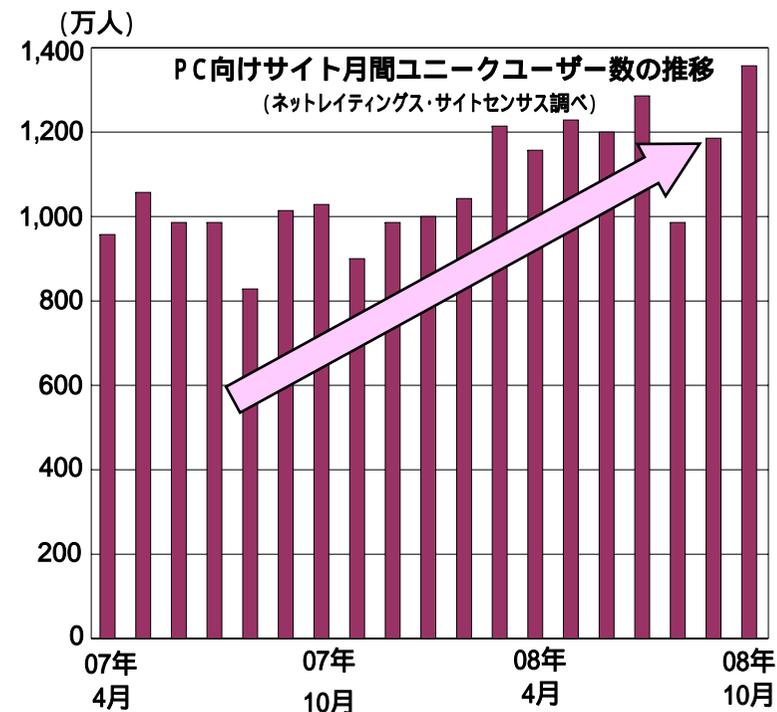
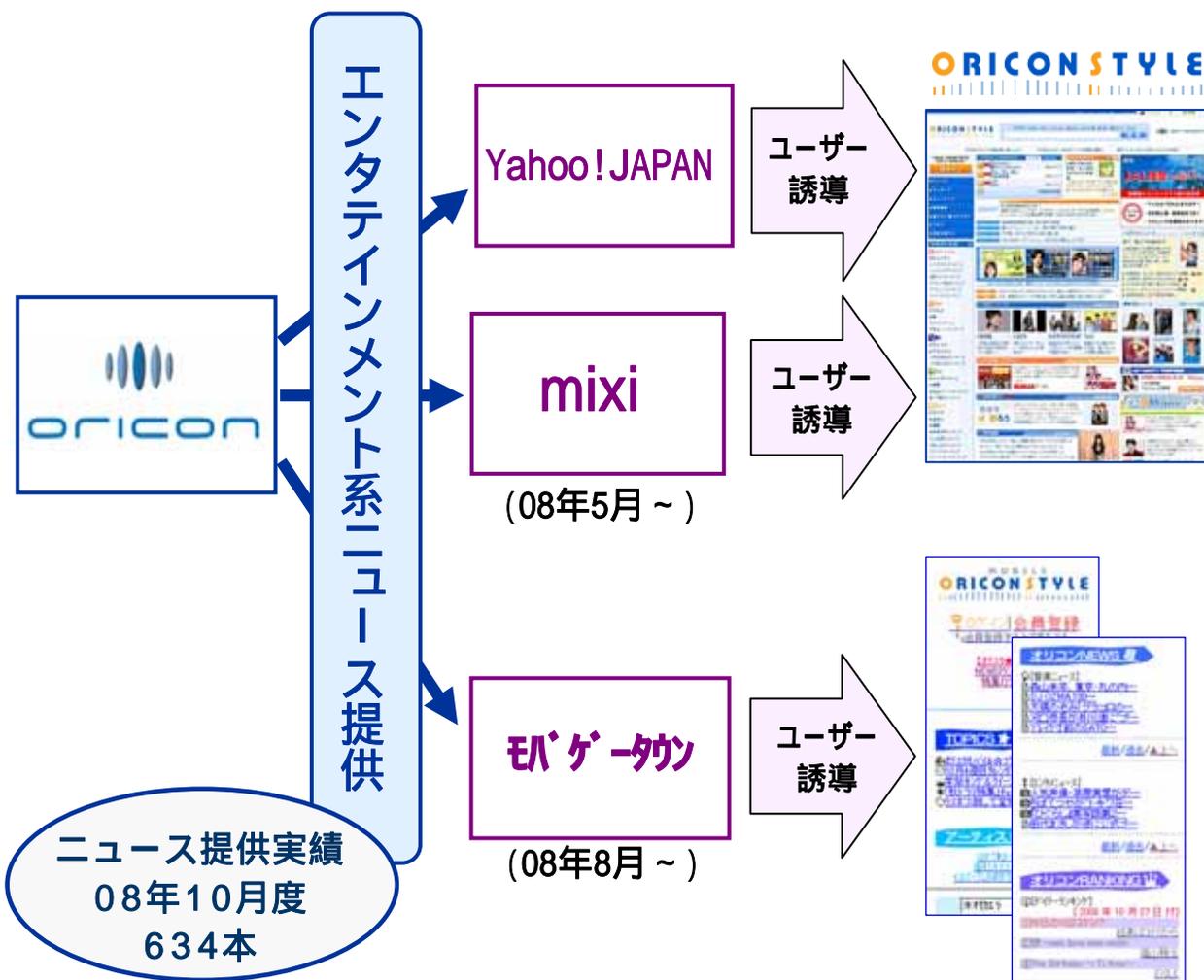
07年10月に休刊した「キッズスタイル」の売上高90百万円を含む

業績の推移 (ORICON CNSとフランクリン・ミントを除いた数値)



収益のけん引役 : WEBメディア事業

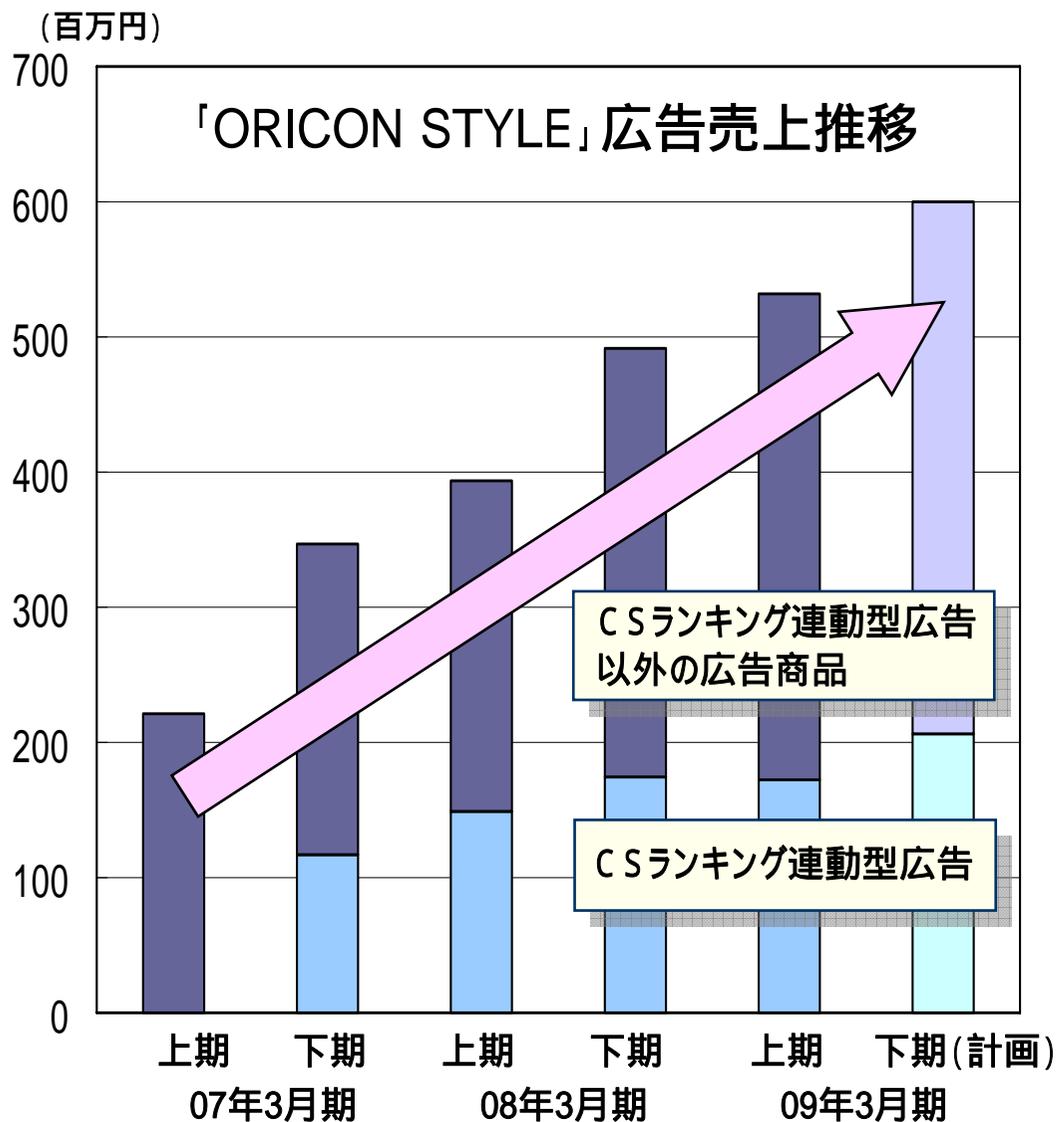
ニュース提供がWEBメディア事業成長の源泉



08年8月より「モバゲータウン」にニュース提供を開始し、それまでの30万人～40万人だったモバイル向け一般サイト「ORICON STYLE mobile」の月間ユニークユーザー数が、08年9月度326万9千人、10月度428万4千人と急増。

エンタテインメント分野に特化したニュースを、ブランドコラボレーションにおいて価値のあるサイトのみ提供して、質の高いトラフィックをコストをかけず獲得するという世界的にみて稀有な誘導手法が奏功し、サイトが着実に成長。

「ORICON STYLE」広告売上の着実な増加



サイトの着実な成長に伴って、広告の売上も着実に増加。

第3四半期に入っても、10月度に過去最高の来訪者数、ページビュー数を記録するなど、サイトの成長が持続。

当社グループのキャスティング力を活用したタイアップ型広告の受注も堅調に推移。

CSランキング連動型広告も、安定的かつ着実に収益を拡大。

今後、PCとモバイルが連携した付加価値の高い広告商品の開発・販売に注力。

「オリコンブログ」の改修を含め、ユーザー参加型コンテンツの拡充を推進。

エンタテインメント系ニュースの発信力をさらに強化。

現在のCSランキング

- ・エステティックサロン
- ・メンズエステ
- ・通販コスメ
- ・ダイエット食品
- ・サプリメント
- ・フィットネスクラブ
- ・審美歯科
- ・居酒屋チェーン
- ・ファミリーレストラン
- ・オンラインゲーム
- ・人材派遣
- ・人材紹介
- ・英会話スクール
- ・塾・予備校(中学受験)
- ・塾・予備校(大学受験)
- ・自動車保険
- ・ネット証券
- ・引越し
- ・インターネットプロバイダー
- ・クレジットカード
- ・マンションブランド
- ・戸建ブランド
- ・病院ランキング

(計23ジャンル)

現在、23ジャンル、68クライアントで展開。安定的かつ着実に収益を拡大。

平成21年3月期2Q累計の売上高:173百万円(前年同期比15.3%増)

前月から当月へのクライアント契約継続率は、各月90%以上の高い水準を継続。

一部のジャンルでは業界全体が厳しくなり、広告予算が絞り込まれる中、これまでのCSランキング連動型広告の広告効果、並びに企業広告への二次利用目的等で、「オリコンのCSランキング広告は継続する」と言われたクライアントが少なくない。

本年12月1日に、「オリコンCSランキングアワード 2008」を開催。

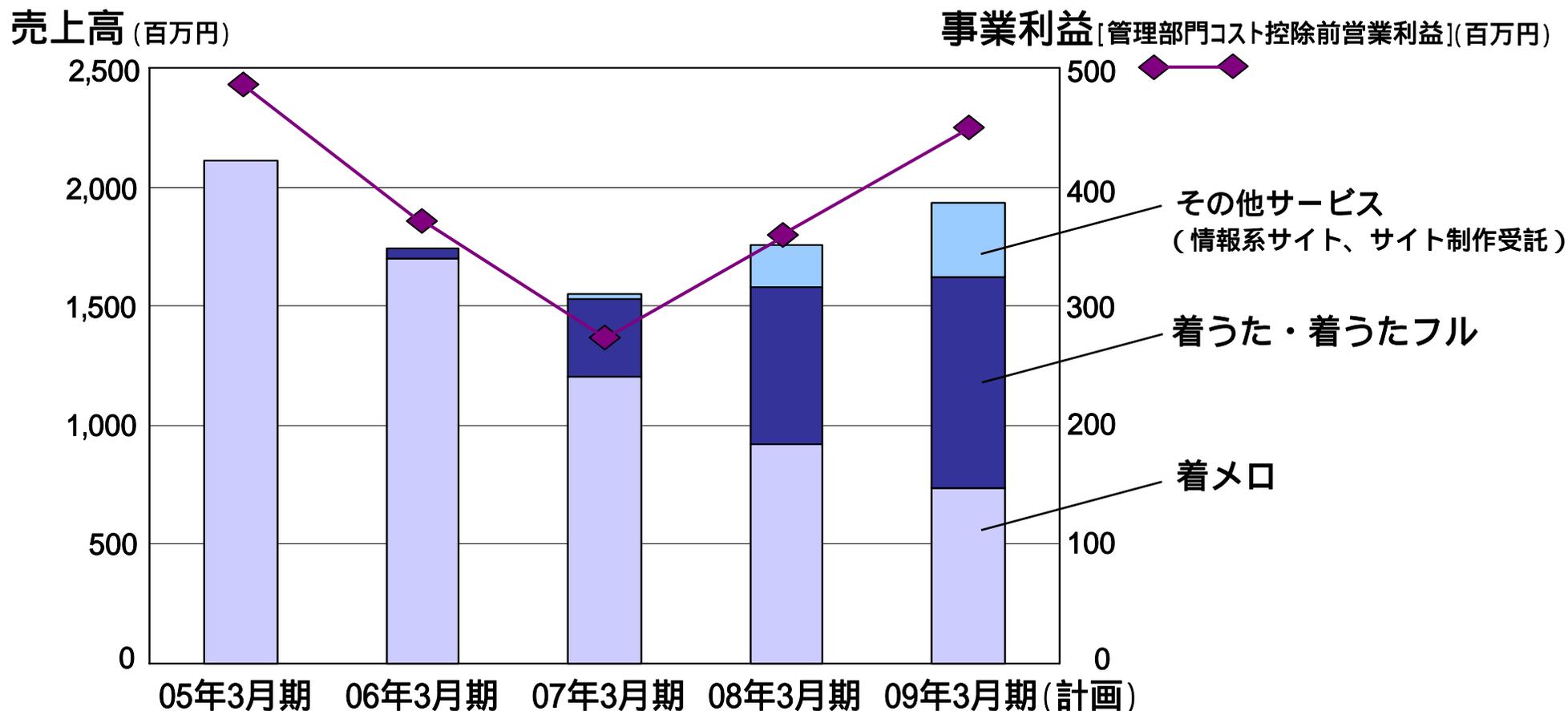
17ジャンルについて更新したランキングを発表するとともに、各ジャンルで1位の企業を表彰。このイベントのマスコミ報道を通して、「オリコンCSランキング」の社会的認知を向上。

慶應義塾大学とCS調査に関する産学連携の共同研究を開始。

当社グループのCS調査について、学術研究を踏まえた理論化・高度化を図った上で、CSという視点で企業ならびに産業の評価を行い、企業と消費者の両方にとって、より利用価値が高く、かつ事業性の高いものに発展させることを目的としている。さらに、将来的には、日本のデファクトスタンダードとなる調査方法の開発を目指している。

収益のけん引役 : 着うたフル配信サービス

モバイル事業の状況 ~ 2期連続で増収増益になる見通し ~



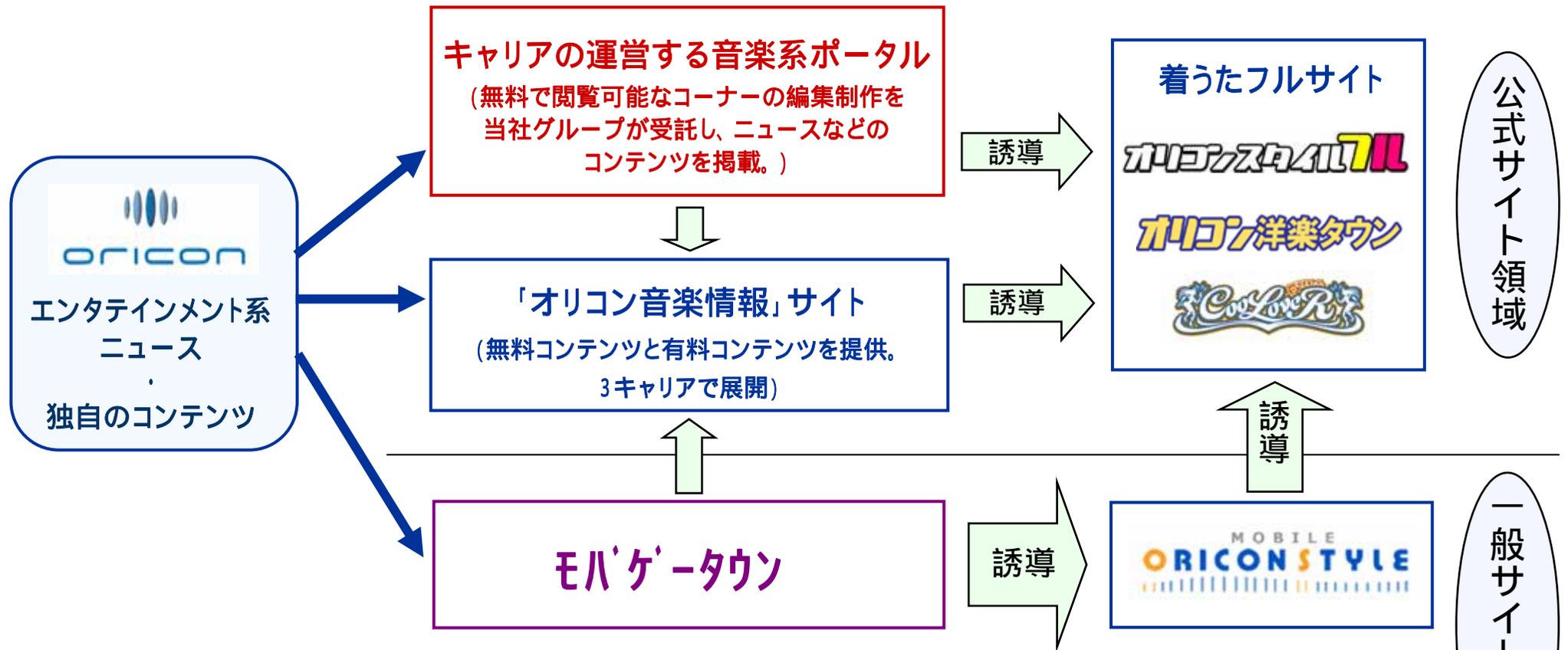
着メロの減収分を着うた・着うたフルの増収分が補って上回り、さらにサイト制作受託などのBtoBビジネスの売上が上積み。

着メロは、音源ファイル制作発注を絞り込むなど原価圧縮に努め、減益幅を縮小。

(当第2四半期累計期間の着メロの売上高が前年同期比111百万円減であるのに対し、営業利益は21百万円の減少にとどまっています。)

着うた・着うたフルの通期の売上は、前年比35.3%増となる見通し。特に、着うたフルが好調に推移。

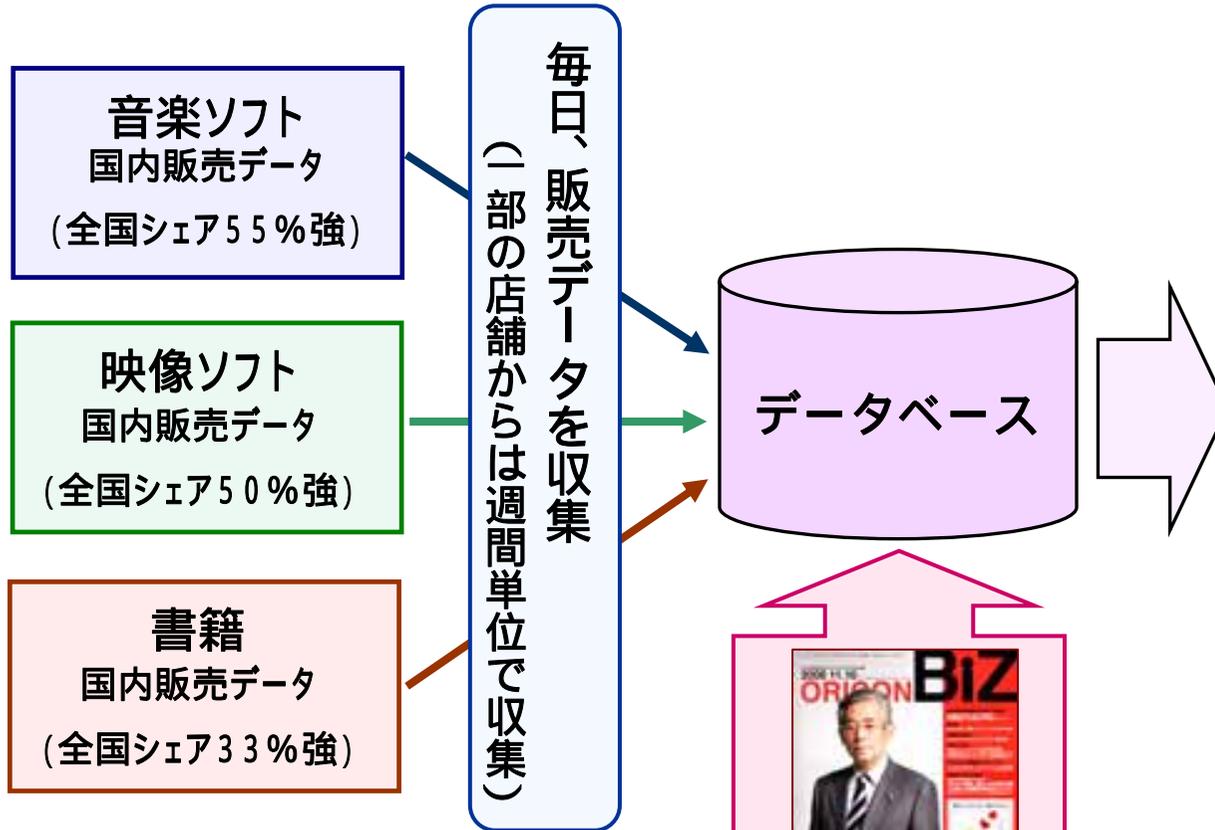
着うたフル好調の要因 ~ ニュースを活用した会員獲得スキーム ~



当社グループのニュース発信力、コンテンツ力を活用することで、着うたフル会員の獲得コストを抑えることができているため、他社と比べ、収益性が高い。
 本年9月より、ユニバーサルミュージックの楽曲が配信可能となり、エイベックスの楽曲も強化されるなど、楽曲ラインナップが格段に充実してきた。

データベース事業の拡充について

「ORICON BiZ ONLINE」の概要



主な調査協力店：
アニメイト、Amazon.co.jp、石丸電器、au records、WAVE、HMV、紀伊國屋書店、ゲーマーズ、さくらや、JEUGIA、上新電機、新星堂、すみや、セブン&ワイ、タワーレコード、ソニー・ミュージックショップ、TSUTAYA、帝都無線、とらのあな、明屋書店、mu-mo、ヤマダ電機、山野楽器、ラオックス、WonderGOO 等

「ORICON BiZ ONLINE」

調査協力店からの販売データその他、エンタテインメント業界向けビジネスマガジン「ORICON BiZ」の一部記事をデータベース化し、会社経営もしくは日常業務に不可欠となるマーケティングデータをオンラインで提供(第4四半期中にサービスを開始)。

- 特徴 -

- デイリーの全国推計売上枚数、マーケット動向を毎日、チェック可能。
(現在の「真大樹」では、週間単位)
- 各種セグメント化したデータを提供。
 - ・ジャンル別
 - ・メーカー別(出版社別)
 - ・エリア別
 - ・流通経路別
 - ・店舗形態別 等

検索機能を強化
音楽ソフト、映像ソフト、書籍を包括

現在のデータ提供サービス「真大樹」を大幅に拡充

「ORICON BiZ ONLINE」のサービスイメージ



トップページイメージ(ログイン後のページ)

ORICON BiZ online >>HOME | >>サイトマップ | お問い合わせ | >>お知らせ | ログアウト

ヒットがみえるエンタメマーケット情報サイト

>>音楽 | >>映像パッケージ | **>>書籍**

<エンタテインメント・マーケット動向> 2008/10/21付

さらに詳しい情報は各カテゴリTOPへ(音楽 / 映像パッケージ / 書籍)

<エンタテインメントニュース>

CLOSE UP
TBS来年4月認定放送持ち株会社に移行へ、放送局グループ再編、大きな転機迎える。(08/10/21)

NEWS
吉本興業、米国タレントエージェンシー最大手のCAAと提携(08/10/21)
NHKオンデマンド、動画配信予定番組表を公表(08/10/21)
TSUTAYA DISCAS、会員数50万人突破(08/10/21)
民間ベースで著作権問題を議論する「デジタル・コンテンツ利用促進協会発足」(08/10/21)
日本のインターネット・トラフィック総量は前年比21.9%増に(08/10/21)

マーケット動向
2008年夏興行中間実績 シブリ! 岸の上-トップ、東宝大健闘(08/10/21)
2008年上半期のレコード生産実績・有料音楽配信の概況(08/10/21)

ENTERTAINMENT HOT TREND
2008年夏興行中間実績 シブリ! 岸の上-トップ、東宝大健闘(08/10/21) 一覧へ
2008年上半期のレコード生産実績・有料音楽配

音楽

2008/10/29付 CDシングル デイリー売上ランキング

- 1.
- 2.
- 3.

続きはこちら

マーケット動向

さらに詳しい音楽情報を知りたい方はこちら

映像パッケージ

2008/10/29付 DVD デイリー売上ランキング

- 1.
- 2.
- 3.

続きはこちら

マーケット動向

さらに詳しい映像パッケージ情報を知りたい方はこちら

書籍

2008/10/19付 書籍 週間売上ランキング

- 1.
- 2.
- 3.

続きはこちら

マーケット動向

さらに詳しい書籍情報を知りたい方はこちら

「書籍」カテゴリのトップページイメージ

ORICON BiZ online >>HOME | >>サイトマップ | お問い合わせ | >>お知らせ | ログアウト

ヒットがみえるエンタメマーケット情報サイト

>>音楽 | >>映像パッケージ | **>>書籍**

>>マーケット動向 | >>ランキング | >>詳細検索

<書籍業界マーケット動向> 2008/10/27付

書籍業界の売上推移について

さらに詳しい情報はこちら

<マーケット動向> 2008/10/27付

全体セールス動向

続きはこちら

ジャンル別セールス動向

続きはこちら

出版社別セールス動向

続きはこちら

取次店別セールス動向

続きはこちら

エリア別セールス動向

続きはこちら

店舗形態別セールス動向

続きはこちら

<ランキング> 2008/10/27付

週間 Book 売上ランキング

- 1.
- 2.
- 3.

続きはこちら

週間 文庫 売上ランキング

- 1.
- 2.
- 3.

続きはこちら

週間 コミック 売上ランキング

- 1.
- 2.
- 3.

続きはこちら

<レポート> 一覧へ

マーケット分析レポート

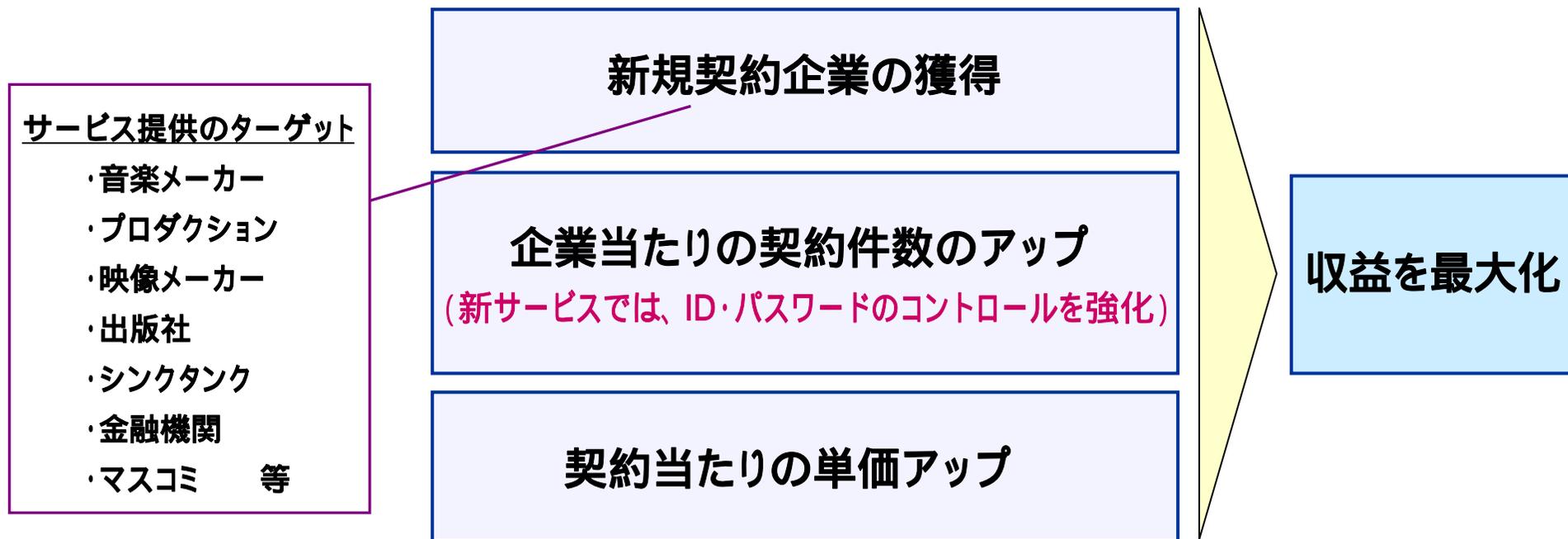
タイトル 2008/10/27

続きはこちら

キーワード分析レポート

タイトル 2008/10/27

続きはこちら



(ご参考)

現状の「真大樹」の平均月額単価

9万円 + オプション料金 (各種検索等)

データベース事業の売上高推移 (単位: 百万円)

05年3月期 06年3月期 07年3月期 08年3月期 09年3月期 (計画)

384

442

480

487

512

[第4四半期に当サービスを開始するも、今期の計画には立ち上げ費用のみ計上し、売上は含まず]

オリコン株式会社

IR用ホームページ <http://www.oricon.jp/>

この資料に掲載されている今後の戦略・見通し等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになれるようお願いいたします。